

特定非営利活動法人地域環境デザイン研究所 ecotone

2015 年度事業計画書

地域環境デザイン研究所 ecotone 事務所
(京都市中京区壬生柳ノ宮町 9-13 HAJIME BLD.)

1. 環境対策支援及び相談事業

<1-1：環境対策支援事業>

祇園祭ごみゼロ大作戦を実施したことで、京都府下での導入が増えることが予想されると同時に、2020年年のオリンピックへの導入に向けた動きがあることから、着実に導入イベントを増やし結びつけていく。

■担当：太田（責任者）、高野

■活動対象：主に京都市内全域のお祭り来場者・主催者・関係者・ボランティアスタッフ

■事業収入目標額：33,500,000円

■実施内容

□事業効率化

下記に挙げるweb構築、及びマニュアル化によって効率化を図る

<1-2：リユース食器レンタル>

昨年度から実施している、使いきりでの食器レンタルが増加にある。また、衛生面強化のため、食器小口包装をすべての食器において実施。それに伴い、1個当たりにかける労力が増加している（洗浄→検品→梱包）。

また、スペース、洗浄と倉庫が離れている事からも、受注増加を戦略的に営業する事が困難であり、洗浄スペースの確保など、抜本的な仕掛け、資金投入など事業の見直しが必要である。

■担当：前田（責任者）、高野

■活動対象

環境対策実施団体/個人・イベント主催者・会議やセミナーの主催者

地域のおまつり関係者・各区まちづくり推進課等

■事業収入目標額：2,200,000円

■貸し出し件数目標 200件

■内容

□拠点整備

拠点を整備し、効率化を図る ※下段参照

□営業

web、パンフレットなどツールを刷新し、積極的な営業を実施 ※下段参照

<1-3：情報発信>

リユース食器、環境対策支援便のニーズの高まりと同時に、問合せ、受発注において職員の負担が増加している。そこで、基本的な情報及び、細かな情報を環境対策に特化したウェブサイトを構築し、その解決を目指す。また、より幅広い方々にご利用頂けるよう、広報サイトとしての機能を盛り込む

■担当：太田（責任者）

■予算：500,000円

■内容

Web の刷新・パンフレットの作成

2. 持続可能な社会づくりに資する調査・研究・情報事業

<2-1. 祇園祭へのリユース食器導入実施向けた体制の構築と実践活動>

■担当：太田

■対象：一般市民

■事業収入目標額：5,000,000円

■実施内容

祇園祭ごみゼロ大作戦実行委員会の事務局を担う。

<2-3. ごみゅにけーしょん（事業委託）>

■担当：前田

■対象：事業系廃棄物減量を目的としたフリーペーパー「ごみゅにけーしょん」の企画/編集

■事業収入目標額：999,000円

■実施内容

京都市 環境政策局 循環社会推進部 ごみ減量推進課からの事業委託として「みんなに話したくなる みんなと始める」をコンセプトに、“へらす”“わける”で一步先行くごみゼロ事業所を具体的に応援するフリーペーパー。本誌は今年で5年目となるが、ecotoneでは、前田の産休／育休を経て2年ぶりに受託した。

<2-4. 関西テレビ 廃ビデオテープのリサイクル支援活動>

■担当：太田

■事業収入目標額：2,000,000円

■実施内容

関西テレビ（株）から排出される廃ビデオテープのリサイクルをコーディネート。

<2-5. 書籍などの販売>

■担当：前田、内藤

■事業収入目標額：100,000円

■実施内容

新規事業として書籍等の販売を実施する。

3. 環境教育事業

<3-1. 第6期コアスタッフ>

昨年度活動した学生からは、コミュニケーション能力やチームワークを学べた、環境に対しての知識が深まったなど、次世代の環境を担う人材輩出に寄与できたといえる。

しかしながら、リーダーの輩出、育成が本プログラムの目的だが、環境対策支援に自己成長、コミュニケーションスキルの向上を求める学生が多く、対象の見直し、またはプログラムの再構築が必要であることから、プログラムのクオリティ向上に努める。

■ 担当：高野

■ ■対象：近畿圏内の大学生（※高校生、社会人不可）

■期間：1年

■実施内容

□自己成長・コミュニケーションスキル

専門家を招き、体験的に他者とのつながりを意識することができるワークを実施

□合宿

環境問題、NPO・NGOの基礎を学ぶ合宿を開催。親睦を深める場とする

4. 2014年度組織・事務局運営について

<4-1. 労働環境の整備>

従業員の働き易い職場作りを目指し、業務効率化などを通じて、超過勤務の減少を目指す。また、定期的に面談を実施し、従業員のキャリア教育もあわせて実施する。

<4-2. 人材育成>

■セミナー参加

講座情報を積極的に情報収集＆共有し、スタッフの学習機会を増やす。

■現地見学会

ボランティアの巻き込み、メンバー交流機会として定期的に開催。

■図書購入

月約3万円の予算を見込む